

令和2年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	17	学校名	桜井高等学校
----	----	-----	--------

1. 取組名 『つくる つなげる とどける』地域の方々から学ぶ
～子育て支援「つどいの広場・ドレミの広場」～

2. 取組概要

・桜井市が主催する子育て支援事業に取り組むことで、近い将来、親となる生徒たちに社会との関わりを実感させ、赤ちゃんをだっこするなど、幼児だけでなく乳児やその保護者とふれあう体験をすることにより、子育ての大変さと楽しさ、生命や家族の大切さについて理解を深める。

3. 特徴

・将来、保育士・幼稚園教諭をめざす生徒たちが、行政が行っている事業に参加し、事業の概要を理解すると共に、子どもやその保護者との交流を深めた。自分たちが制作したパネルシアターや手袋シアター、手遊びを子どもたちと一緒に楽しみ、将来への展望や今後の課題を見つけることができた。

4. 成果、課題

・コロナ禍での開催のため、参加者を少数に絞り参加させていただいた。参加出来なかった生徒たちにも、参加者を通して、活動の内容や成果を発表し、共有した。

・本校生が参加するということで、毎年楽しみにして、その日に合わせて利用される地域の方もおられ、高校生だけでなく、乳幼児にとっても、世代間交流の場として有意義なものとなっている。

・行政側も生徒だけの参加でとのことであるが、事前指導や当日も含め、教員の指導引率は欠かせないと思う。

5. 本事業による取組とコミュニティ・スクールの導入・推進との関わり

・コロナ禍で、活動内容に制限もあり、中止や縮小せざるをえない内容も多かったが、数少ない機会を通して、生徒も含め教員も学ばせていただくことは多い。CSを導入した際にはさらに連携先との関係を深めていきたい。

